

みんな

さらなる行革と着実な事業の実施を

みんなの鎌倉では、平成29年度の諸議案に対し、改革と未来への投資の観点から代表質問・特別委員会でただし、全ての議案に賛成いたしました。

生涯現役促進を

高齢者の雇用や、健康づくりは、増大している医療費や介護費などの抑制につながり、今後とも地域の中で、生涯現役が促進できるような取り組みを求めました。

行財政改革について

昨年12月議会において松尾市長は機構改革案を提出し、その中行革推進部を設置し、事業の取捨選択をする

子どもに豊かな時間を

放課後子ども総合プランの実施が拡大されたことは評価するものであり、早期の全校実施を要望しました。また、待機児童や病児保育などの対応については、着実な実施を求めました。中学校給食が実現し、献立等の工夫がなされるよう要望いたしました。

科学技術で減災を

IoTセンサーやドローンなど科学技術を駆使した減災の可能性を模索するとともに、避難行動要支援者支援制度などのソフト面での活動の充実を求めました。

文化・観光行政について

文化財保護行政の充実と観光行政の質の向上を一体的に進めることが重要であると考えます。新設される歴史文化交流館が、地域の方々にも愛され、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産を身近に感じられるような有意義な施設となるよう要望しました。

ごみ処理行政について

懸案事項でもある廃棄物処理については、減量化・資源化が確実に進み、新焼却施設建設を含めた安定的な処理を市民の方々に示していく必要があると考えます。29年度はその重要な時期であることを

神奈川ネット鎌倉

人権を尊重した市民主体のまちづくり

神奈川ネットは、平成29年度予算審査には「人権を尊重した市民主体のまちづくり」をテーマに臨みました。しかし、賛成できる予算内容ではありませんでした。

各種書類のコンビニ交付

マイナンバーカードの交付率が12・5%にとどまっています。コンビニ端末を活用したマイナンバーによる書類交付を急ぐ必要はありません。高齢化率が30%を超える鎌倉市は、身近な窓口で人によるサポートができる体制が一層求められます。

災害対策

公衆無線LANシステムを災害対策として小学校5校に設置するとしています。福祉避難所等への水・食料・毛布等の基本的な備蓄品の整備、高齢者や乳幼児・アレルギー対応食の充実等、人の命に関わることに予算を使う方がもっと重要です。

地域福祉

社会福祉法の改正で、社会福祉法人は地域において公益的な取り組みを行うこととされました。法人が、福祉車両を活用した買い物や外出支援、子ども食堂や居場所事業等を地域住民と協働する仕組みを提案しました。

子育て支援

産前産後の家事・育児支援をこどもみらい部と健康福祉部が連携して進めることが必要です。また、保育所の待機

公正

決められない松尾市政 腐敗した利権市政を浄化

私達は行政を監視する議員としての責任を果たすべく、予算委員長職を獲得して議論をリードしました。結果、平成29年度予算修正案を提出し、可決され、血税を垂れ流し、松尾市政のしがらみと利権ま

観光協会、補助金削除！

昨年の決算委員会を追及したパート職員の雇い止め、雇用契約書さえ作らないずさんな労務管理が発覚した観光協会に対し、松尾市長はあろうことか何ら反省もなく、人件費や一等地の家賃の補助金を計上。しかし、市民の代表の議会が要求した資料提出さえ、拒否する態度は許されないと議会側で全額削除。市も観光協会も重く受け止め、猛省せよ。

緑地の利権化。松尾市長は、総額94億円超の浪費。

松尾市長は緑を残そうといて、買わなくても開発されない土地をほとんどん買収し、総額94億円の浪費をしました。これには他会派は何ら異を唱えません。子供達のために待機児童ゼロや学力向上のための投資もしないことは看過出来ません。

松尾市長に改革は不可能！

地方の二世政治家の限界か。松尾市長は能力どころか、しがらみや利権を排除する勇氣も決断力もなく、副市長も部長も皆辞めています。市民受けはしても、実態は利権政治。予算賛成は信任と同義。よって予算案に反対しました。

天下り補助団体の高給是正

市の補助金に大きく依存する鎌倉市社会福祉協議会やシルバー人材センターの職員給

日本共産党

県内トップの財政力を市民の暮らしに生かして！

市の調査で、勤労市民一人当たりの給与収入が20年前より60万円も減収していることが分かりました。

高齢者割引乗車制度を復活し、さらに充実を

高齢者の自動車運転による交通事故が社会問題となり、道路交通法の改正で、免許証の返上が勧められています。鎌倉市は高齢化率が県下でも高く、また交通不便地域もあることから、バス・モノレール・江ノ電などの公共輸送機関の活用で、交通事故も未然に防ぐ意味からも、割引乗車制度の早期の復活と、充実を強く求めました。

大船・藤沢駅間の新駅建設は中止、予算は生活重視へ

これまでの試算の1・5倍の160億円と見込まれましたが、いまだ神奈川県・藤沢市・新中学生入学準備金の前倒し支給・法務局跡地へ保育園建設準備

保育園待機児200人以上 特養ホーム入所待ちも約500人。施設の増設を！

「保育園落ちた」と、昨年待機児問題が大きな社会問題になりましたが、鎌倉市でも今春、昨年より多い200人以上の待機児が生まれました。特養ホームは建設中の施設が開所しても400床も足りません。党市議団は鎌倉東地区の遊休県有地を確保するなど、施設計画を具体化するために、用地確保の特別チーム

保育園待機児200人以上 特養ホーム入所待ちも約500人。施設の増設を！

「保育園落ちた」と、昨年待機児問題が大きな社会問題になりましたが、鎌倉市でも今春、昨年より多い200人以上の待機児が生まれました。特養ホームは建設中の施設が開所しても400床も足りません。党市議団は鎌倉東地区の遊休県有地を確保するなど、施設計画を具体化するために、用地確保の特別チーム

市民との信頼損ねるごみ袋開封チェックはやめよ

松尾市政の失政で一定量のごみを市外で処理しています。それを減らすため、不適切な排出者を特定し指導するため開封しチェックする計画です。資源化率日本一の市民に背を向けるようなことはやめ、これまでの取り組みをさらに強めるよう求めました。